

四十五球目

令和3年を迎え
変化とチャレンジの年へ



市長 柿原 純夫

新年、あけましておめでとうござ
います。

市民の皆様におかれましては、令
和3年の新春を清々しい気持ちでお
迎えることとお慶び申し上げます。

旧年中は、コロナ禍にあつても、
市政に対し格別のご理解とご協力を
賜り、厚く御礼申し上げます。

本年もどうぞよろしくお願ひ申し
上げます。

新型コロナウイルスが11月上旬か
ら再び全国各地で感染拡大していま
す。愛知県では警戒レベルを「厳重
警戒」に引き上げ、注意を呼び掛け
ています。市内においても感染者は
少しずつ出ている状況です。今後、
感染拡大の状況によっては再び緊急
事態宣言が発令されることも予想さ
れます。半田市全体の安心・安全の
ため、十分な感染予防対策を講じて
「感染しない、感染させない」意識
を持って行動していただきますよう
お願ひいたします。

菅政権発足から3カ月半が経ちま
した。デジタル庁の創設をはじめ、

我々の生活に身近なところでも様々
な改革、見直しの動きが出ています。
そのうちのひとつが脱ハンコです。
行政手続きの中で慣例となっていた
押印を極力なくすよう国が方針を示
しました。これを受けて、本市でも
令和3年1月から原則押印を廃止す
ることとしました。今後、市民の皆
様が市役所で手続きする際には、真
に必要なもの以外はいただかないこ
とになります。

令和2年は行事や会議が中止や縮
小、形を変えての開催となることが
多く、市民の皆さんや関係機関の皆
さんと直にふれあい、意見を交わす
貴重な機会が数多く失われました。
これまでに市長会議でリモート会議
を数回経験しましたが、少し味気な
く、物足りなく感じています。会議
で隣の席になった他市の市長さんと
の情報交換や地域の行事に参加した
際にいただく市民の皆さんの声から
半田市をよくするためのヒントを得
てきた経験からです。

先日、欧米でワクチンが完成した

とのニュースが届き、新しい生活様
式も今後、次のステージに移ってい
くものと思いますが、安心・安全と
ともに、人と人とのふれあい、心の
豊かさも大切にしたいものです。

令和3年4月から、「人がまちを
育み まちが人を育む『チャレンジ
あふれる都市・はんだ』」を目指して、
第7次総合計画がスタートします。
市民・事業者・行政の三者が共に学
び、成長とチャレンジを続けること
で、人とまちが互いを育て合い、ま
ちの魅力が向上していくことを目指
します。これからの10年はこれまで
に築き上げてきた協働体制の下、何
事にも新たに挑戦する気持ちを持っ
て取り組んでまいります。

JR武豊線連続立体交差化・JR
半田駅前土地区画整理は、仮線、仮
駅舎工事に着手し、いよいよ動き出
します。2つの事業が一体となって、
賑わいと魅力溢れるまちづくりを進
めてまいります。令和9年度末を目
処にJR半田駅周辺は新しく生まれ
変わります。

▼ JR武豊線連続立体交差化イメージ図



市立半田
病院の移転
につきまし
ては、引き続
き常滑市民
病院との経
営・診療統合
について協
議を重ねて
いるところ
であり、新病
院周辺の道路整備等から工事を開始
し、令和7年の開院を目指して準備
を進めてまいります。

環境については、新たな環境基本
計画に沿って取り組んでまいります。
その中で、カーボンニュートラルは、
2050年までに日本におけるCO₂排
出量を実質ゼロにする取り組みです。
本市は既にこの目標を達成すべく、
ゼロカーボンシティ宣言をしていま
す。今後、市内企業の皆様にもご協
力いただき、目に見える形で目標達
成に向けた取り組みを推進していま
います。市民の皆様におかれまして
も、ご理解とご協力をお願いいたし
ます。

本年も市民の皆様へ、安心・安全
な暮らしと明るい話題を提供できま
すよう、職員一丸となって市政に取
り組んでまいりますのでよろしくお
願ひいたします。